

縦の繋がりが強く、伝統が継承されている

S.O.

マンチェスター大学 経営学部 進学予定（イギリス）

水戸市立 吉田小学校 卒業

私は国際教養コースに入っていました。中学生だった頃は決して英語が得意なわけではなく、成績も下から数えたほうが早いぐらいで、苦手な教科でした。しかし、英語の先生方の丁寧でわかりやすいご指導の下で英語に興味を持ち、国際教養コースに入りたいと思うようになりました。私の代から新設されるコースだったので少し不安な気持ちもありましたが、国際教養コース創設者の茨中・茨高の先生に絶対的な信頼を寄せていたので、迷わず志望しました。このことがきっかけとなり、私が以前から抱いていた海外大学に進学し、海外で就職するという夢に一気に近づきました。国際教養コースでは、高校2年生時に半年間の留学が必須なのはもちろんのこと、一般コースとはかなり異なるカリキュラムで授業が組まれていました。留学に向けての授業である Practical English や Academic Skills などがあったため、実用的な英語や異文化理解が出来ていなかった私にとってとても助かりました。そのおかげで、留学に対してあった不安がなくなり、安心した気持ちで出発することができ、留学中も先生方が面談の機会などを設けてくださったおかげで充実した留学をすることが出来ました。留学後は、受験に向けて学年全体で一丸となっていたので、私もすぐに受験モードに切り替えることができたため、同級生の仲間たちにはとても感謝しています。彼らとは、長くつらい受験をお互いに励まし合い、高め合う良い関係を築き、受験を最後までともに走り切ることができました。私は海外大学が第一志望だったため、他の受験生とは少し異なる勉強などをしていましたが、先生方は常に相談にのってくださったり、奨学金の紹介をしてくださるなど、様々なサポートをしてくださいました。日本の大学の対策をした際にも、小論文の添削を忙しい中でしてくださったり、私が何度も質問にいき丁寧に教えてくださりました。

私は茨中・茨高で、バスケットボール部に所属していたのですが、球技系のスポーツをしてこなかった私はあまり上手ではなく、何度か辞めようか迷っていた時期もありました。しかし、尊敬できる偉大さもあり、一方で友達のようなフランクな関係でもあった先輩方や、何事にも一生懸命に取り組む仲間の姿を見て、私も影響され、最後まで部活動をやり抜くことが出来ました。この経験があったからこそ、部活動以外の勉強等にも本気で取り組むことが出来ました。さらに、部活動に取り組んできたことで、留学先でもスポーツを通して友達をつくることができました。最初は英語でコミュニケーションをとることが難しかったのですが、このことから言語を超えたコミュニケーションやスポーツの大切さがわかり、現在抱えている私の夢にもつながっています。

茨中・茨高の良いところは縦の繋がりが強く、伝統が継承されていることだと思います。茨中の体育祭は、各学年ごとで争うのではなく、中1から中3が色ごとに分かれ、1つのチームとなるため、先輩や後輩との関係が親密になりやすいです。また、色ごとに今まで継承されてきたものが異なっており、それを実際に私が受け取り、後輩に託した経験を通して「伝統の重み」を実感しました。茨高では、卒業生が来て講演会を開いてくださったり、自分の志望校に合格しているOBの先輩とコンタクトをとることができたりするなど、卒業しても茨中・茨高に協力して下さる方々がいるため、頼もしかったです。私も将来は何らかの形で茨中・茨高に協力したいと思わせられましたし、卒業生が茨中・茨高に協力する伝統がこの先も続いていくことを確信しています。

大学進学後はスポーツマネジメントについて学び、イギリスにあるサッカーチームで働きたいです。茨中・茨高の6年間を通して学んできたことを活かし、「報恩感謝」の精神を受け継ぎ、世界的に活躍したいです。